



発行 ● 狛江市政策室
〒201-8585 狛江市和泉本町 1-1-5
☎ 3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階A号
☎ 3430-6617 FAX3430-6743



2 和泉児童館

中和泉3-12-6

子どもの遊びや仲間作りの拠点として昭和58年に開設され、平成28年に隣接する民営のめぐみの森保育園との複合施設として改築された。鉄骨造り2階建ての建物には園庭、プレイルーム、図書室などが設けられている。屋外に外遊びができるグラウンドがある。児童館内には和泉小学生クラブが設置され、幅広い年齢の子どもが利用しており、地域での子育ての中心的な役割を担っている。

3 馬頭観音

中和泉3-4

東京都の 대기汚染測定室横の三差路にある。文政10(1827)年に建立された。道標も兼ねており「府中道」などの文字が刻まれている。すぐ横には卵形の新しい道標も立っている。



4 伊豆美神社

中和泉3-21-8

祭神として大國魂大神などをまつる。寛平元(889)年に、現在のあいとぴあセンターの辺りに創建されたと伝えられ、多摩川の洪水に遭い天文19(1550)年に

現在の場所に移ったという。江戸時代には「六所明神」と呼ばれたが、明治初めに現在の名称に改められた。

広い境内には本殿、神楽殿、参集殿などが建ち、鳥居から本殿に至る参道は両側から太い木々で覆われ、静かな雰囲気を感じさせている。土地の人だけでなく、江戸時代には井伊、石谷、松下など領主の尊敬を集めた。参道入り口にある小型の鳥居は、江戸町奉行などを務めた石谷貞清が慶安4(1651)年に立てたもので、大老井伊直弼の業績をしのぶ開港記念碑とともに市の文化財に指定されている。

「敬老の日」の前日に催される例大祭ではみこしに加え、江戸の里神楽や多摩川囃子が奉納され、多くの人でにぎわう。



5 中和泉樹林地

中和泉3-21

伊豆美神社北西隣にある約934㎡の市が管理する樹林地。敷地内にはクヌギやコナラ、ヤブツバキなど多くの木々があり、武蔵野の雑木林の雰囲気を楽しめる。



6 兜塚古墳

中和泉3-23

直径約36m、高さ約5mの大型の円墳で周囲に幅約11mの溝がめぐらされている。昭和62年と平成7年の調査によって、出土した円筒埴輪の年代から6世紀前半に築かれたと推定されている。古墳の頂上は市内で最も標高が高い。かつて市内には「狛江百塚」と言われたほど多くの古墳があったが、墳丘の形をとどめているものは少なく、この古墳は良好な状態を保つ貴重な存在となっている。亀塚古墳が5世紀後半に築かれた盟主墓と考えられ、兜塚古墳はその次の世代の盟主墓と考えられている。昭和50年に都の史跡に指定された。



7 玉川碑 (万葉歌碑)

中和泉4-14

高さ約3mの根府川石製の碑の表面には「多麻河泊爾左良須豆久利佐良左良爾奈仁曾許能兒能己許太可奈之伎(多摩川にさらす手づくりさらさらになにごこの児のこどかなしき)」という多摩川ゆかりの万葉集巻14にある東歌が万葉仮名で刻んである。碑の文字は江戸幕府の老中松平定信が記した。最初は江戸時代後期の文化年間(1804~1818年)に

下流の猪方付近に立てられたが、洪水で流失。残っていた拓本を元に大正13(1924)年に実業家の渋沢栄一ら財界人の支援を得て再建され、碑の背面には渋沢の文が刻まれている。



8 山谷庚申塔

中和泉5-23-26

2体の石造りの青面金剛像をまつっており、大きい方が宝永元(1704)年、小さい方が文化元(1804)年に立てられた。この付近は江戸時代から「山谷」と呼ばれ、地区の住民が講中を組織して守り伝えている。



9 柳久保稲荷神社

中和泉5-41

狛江ショッピングセンターの西端にあり、稲田姫大神をまつっている。長い参道には2つの赤い鳥居が立つ。かつては現在地の南側の柳窪といわれる低地にあったが、多摩川の洪水で流失したため、現在の場所に再建して名称も改めたという。



品川道

狛江三叉路近くの狛江通りとの交差点(東和泉1-8付近)から狛江市役所前交差点を経て調布市との境の中和泉5-37付近までの延長約2,150m。静かな住宅街を縫うように通る道は古くから府中市や調布市などとの往来に使われ、古墳などの史跡や神社、石造物などが点在し、かつての古道のおもかげを残している。「いかだみち」のひとつ

万葉通り

品川道との交差点(中和泉4-2付近)から六郷さくら通りの水神前交差点まで約550m。沿道には農地が多く、途中に玉川碑(万葉歌碑)がある。

1 駄倉塚古墳

中和泉1-1 エコルマ3の北側にあり、数本の高い松の木などが生えているが、かつては直径30m以上、高さ約4mの円墳だった。現在は南側の裾部と北側の半分が削られ、3分の1ほどしか残っていない。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用制限を行っている施設、中止しているイベント等があります。健康維持のため散歩等を行う場合も、咳エチケットや手洗い徹底、密集を避けるなど、感染拡大防止に協力をお願いします。施設などに立ち入る場合は必ず許可を得てください。



いが、出土した円筒埴輪片などから5世紀半ばに造られたと推定されている。

史跡が伝える古道のおもかげ

